

2024 年度
学位記授与式
学長式辞

卒業生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。我々、こども教育宝仙大学の教職員一同、ご卒業を心からお喜び申し上げます。

ご家族の皆様も、ご卒業を、心待ちにされていたことと思います。成長され、門出を迎えられます。

心からお祝いを申し上げます。そして4年間のご支援、誠にありがとうございました。

コロナ禍の影響もなく、本年は従来の学位記授与式に戻しており、ご来賓の皆様にもご臨席いただきました。お忙しいところ、誠にありがとうございました。

今朝ほどは、季節はずれの雪も降りましたが、春は間近であり、球春も到来しました。昨日は、東京ドームで、大リーグの開幕戦が行われました。ドジャースと、カブスのゲームですが、大谷選手をはじめ、いずれも投打の主軸は日本のプレーヤーです。我々の世代では考えられなかったレベルで、今の世代は活躍しています。そして、本学では、社会で大活躍が期待される卒業生が、本日、巣立とうとしています。

振り返りますと、高校3年の受験期に、新型コロナウイルスが、まん延しました。入学式は、前年実施できなかった1年上の先輩との合同入学式でした。入学後も、引き続き緊急事態宣言やまん延防止措置が続きましたが、対面とオンラインによる授業を組み合わせ、実施してきました。ワクチン接種が可能となり、接種の推奨、加えてモニタリングのためのPCR検査も推奨して、乗り切りました。

そして新型コロナの5類移行が決定した頃に、皆さんの第一回の実習、保育実習がスタートしました。実践教育に重点を置く本学では、実習を重視しており、コロナ禍でもずっと続けていました。皆さんにとって、ほぼ初めての社会体験ともなる訳ですが、先生方の指導のもと、何とか乗り切りました。そして先ほど表彰させていただいたとおり、100名の方が学位記を受け取り、幼稚園教諭一種免許状、保育士資格、認定ベビーシッター資格、宝仙マイスターを多数の方が修得されました。

オーストラリア保育留学も、皆さんは、1期生、2期生となり、8名の方が渡豪、全員がオーストラリアの保育者資格であるCertificate IIIを取得して帰国しました。また卒業研究も、自ら興味のあるテーマを定め、先生方の指導のもと、全員がしっかりと仕上げてくださいました。

本当によく頑張ったと思います。

また、皆さんは2年生になるときに、一斉に成人、大人になりました。民法が改正され、約150年ぶりに成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。世間では、18歳、19歳を狙った悪徳業者から、どう守るか、ということが強調されている様に思われました。でも実質は、契約、つまり法的な効果が生じる「約束」とは何かを理解し、一人で契約できる力を身に付けることが大切です。そのため「成人基礎力」と称して指導してきました。

選挙権年齢も18歳に既に引き下げられており、皆さんは、成人社会のフルメンバーシップを得たこととなります。権利もありますが、義務も生じます。ただ大学時代は、ブルペンで投球練習をしていた様にも思います。卒業して社会に出ると本格的な実践です。個人としての契約だけでなく、仕事上の契約も結ぶ必要が生じます。成人基礎力の「約束を守る」「期限を守る」「責任を持つ」、そして相手方に「だまされない」を、もう一度確認して歩んで欲しいと思います。

卒業者発表後に、何人かの卒業生と話す機会がありました。本当に頼もしくなったと感じました。受験期がコロナ初期にあたり、入学当初は、何となく不安な表情だったように思います。コロナ禍を乗り越え、成人になった今では、自分はこの道を歩むと明確な意思を持っていました。公務員として社会に尽くす、保育者として子ども達を育てる、福祉施設で入所者を支援する、オーストラリアで保育者となる、などです。頼もしい限りです。

メジャーリーガー達とは、異なるフィールドですが、新たな時代を作ってくれることを確信しました。そして保育に関わる皆さんは、子ども達の成長を通して、更に次の時代を作ってくれると信じています。

コロナ禍で、皆さんは、予期せぬ状況に対応する柔軟性や、自己管理も身に付けました。痛感されたのが、人と人とのつながり、ご家族も含め、人を思いやる優しさ、だったと思います。

今も国際情勢は不安定で、今後も自然災害も含め、予期せぬことが起こるでしょう。人とのつながりや、思いやりを大切にしながら、蓄えてきた力で、乗り越えて欲しいと思います。

でも疲れたら少し休んでみて下さい。人生100年時代を生きる皆さんには、時間は充分にあり、選択肢は多種多様です。自分を再発見する充電期間も大切です。そのような際は、本学や、先生方のことも思い出し、いつでも本学を訪ねてみて下さい。大歓迎致します。

こども教育宝仙大学は、皆さんにとって永遠の母校であり、教職員一同は、永遠の応援団です。

それでは、皆さんのご健康と、益々のご活躍を、心から祈念し、学位記授与式の式辞とさせていただきます。

令和7年3月19日

こども教育宝仙大学 学長 太田誠一